

5/24 記者会見

1. 内容と市長コメント

①ブリテンインブルーム「ゴールドコミュニティ賞」授賞式に参加

見附市が受賞したことについては、市全城市民全体でいただいた賞であると思っている。イングリッシュガーデンで花を作り、地域コミュニティや企業、学校、ボランティア団体などに配布し、植栽と管理を行ってもらっていることによるものだと思う。そのような意味でも、市民全体でこの賞を分かち合い、喜び合いたい。そして、「見附に訪れたい」「見附に住みたい」と思ってもらえるよう今回の受賞を市内外にしっかりと発信していく。

②電動キックボードのレンタル開始

昨年、市職員の提案により導入したもの。安全確認も含め、まずは園内での利用になるが、将来的には今町地域の散策にも活用できればと考えている。

③見附駅交流拠点「MITSUKERU(ミツケル)」オープン

フリースペース、貸しスペースともに、仕切りで区切らず見通しの良い形での活用を考えている。またカウンターテーブルでは作業などに使ってもらったり、ソファではゆっくりくつろいだりしてもらいたい。5月29日午後3時に竣工式、その後オープン。

④「見附市子ども誰でも通園制度」を試行実施

国の試行制度を見附でも実施するもの。県内では見附を含めて4市が行うことになっている。

⑤「見附市子どもに関わる仕事人材バンク」への登録者を募集

しっかりと子どもたちを預かる体制を整えるためにも、迅速に職員をはいちすることが大切。見附の特徴としては、放課後児童クラブの職員を含んだ人材バンクであるということ。資格の有無にかかわらず、気軽に就業が可能となるのではないかと考える。

⑥熱中症対策としてクーリングシェルターを設置

⑦総合防災訓練を実施

コロナ禍でここ数年縮小してきたが、市民総参加の総合防災訓練としてこれまでも継続してきた。新しい取組みとして、避難情報発信時に新たにできたレベルファイブ「緊急安全確保」を本部運営訓練に反映していくほか、市内の外国人技能実習生にも避難対応の確認をしてもらうこととし、その結果を踏まえて外国人の避難計画の検討につなげたい。

⑧「見附市下水道事業経営戦略改定（案）」の意見を募集

2. 質疑応答

質：読売新聞

・イングリッシュガーデンの「ゴールドコミュニティ賞」授賞のほかに、当日はどんな授賞がありましたか。

答：市長

- ・ゴールドコミュニティ賞は英国外への表彰のために今回作られ、初めての授賞となったと聞いています。

答：建設課長

- ・今回の授賞式はチェルシーフラワーショーの60周年記念イベントの1つとして行われ、チェルシーフラワーショーの中での表彰式は、また別に行われると聞いています。

質：読売新聞

- ・ゴールドコミュニティ賞は英国外で初とのことでしたが、他の国の受賞はなかったということでしょうか。

答：市長

- ・今回の授賞式において他国の受賞はなく、今回の受賞は見附市を含む三者のみでした。

質：読売新聞

- ・現時点で、イングリッシュガーデンは見附市最大の観光施設になってきていると思いますが、どうお考えですか。

答：市長

- ・年間20万人以上、昨年度で200万人の来場を達成して、本当に多くの方に来場いただいていると思っています。そうなったのも、これまでガーデンに関わってきたケイ山田さんやナチュラルガーデンクラブ、市の関係者、コミュニティ、ボランティア、企業、学校など多くの方々の頑張りのおかげであり、皆さんに敬意を表したいです。今後も素晴らしい見附の財産であるイングリッシュガーデンと花と緑のまちづくりをしっかりと継承・活用して、発信に取り組んでいければと思っています。

質：読売新聞

- ・観光という意味でも、非常に成功を収めているという考え方でよろしいですか。

答：市長

- ・観光という観点に限らず、成功を収めていると思っています。

質：読売新聞

- ・現地で表彰を受けた際、皆さんがどういう選評で賞を受けたといったお話はありましたか。

答：市長

- ・その場で詳しい選評はありませんでしたが、これまで来ていただいたトレイシーさんの評価などから考えると、イングリッシュガーデンでの管理・運営の取組み、市の施策としての緑化運動をしっかりと推進してきたこと、市内全体や関係者の中で緑化意識が浸透してきたことが評価されたのではないかと考えています。

質：読売新聞

- ・その浸透した緑化意識の中心にナチュラルガーデンクラブの方々がいらっしゃった、ということでしょうか。

答：市長

- ・その中心にいらっしゃったと、考えています。

質：読売新聞

- ・（演台脇に置いたゴールドコミュニティ賞の表彰状を指して）この賞状は三団体で連名という

ことで良いですか。

答：市長

- ・連名の賞状で、三団体がそれぞれ同じものを受け取りました。

質：新潟日報

- ・仕事人材バンクは、公立・私立を問わず市内すべての保育園が対象ですか。

答：市長

- ・市内すべてが対象です。

質：新潟日報

- ・保育士などの資格や経験がなくても、18 歳以上なら誰でも登録可能でしょうか。

答：市長

- ・そうです。資格がなくても登録はできますが、資格が必要な仕事については資格を持っている人を選びます。資格がなくてもできる仕事もありますので、そういった方にも是非来ていただきたいと思っています。

質：新潟日報

- ・他市においても人材バンクの登録は行われていますか。

答：こども課長

- ・先行の事例は他市でもありますが、放課後児童クラブまで対象を広げている市はあまりないのではないかと思います。

答：市長

- ・すべてを把握しているわけではありませんが、近隣の市ではないのではないかと思います。

質：新潟日報

- ・先ほど「子どもと関わる仕事がしたいという意見もあったので」とのお話でしたが、どこでその意見を聞きましたか。

答：市長

- ・担当のこども課が保護者の方たちと触れ合う機会です、そんな意見があったと聞いています。

質：新潟日報

- ・事業の開始が6月1日ということは、登録や照会、保育園に来てもらうのも6月1日から可能になるということでしょうか。

答：市長

- ・あまりないと思いますが、マッチングが整えば、その可能性もゼロではないと思います。

質：新潟日報

- ・下水道事業のシミュレーションについて、パターン②の料金190円/㎡は、県内でも高い方になりますか。あるいは現在の使用料が安くて、値上げによって近隣の市と変わらない程度になりますか。

答：市長

- ・現在はどこの自治体も料金の見直しを進めていますので、いまどうなるかという点だけで評

価されるのはどうなのかな、という気はしています。

答：上下水道局長

- ・現時点では、県内 20 市中で高い方から 9 番目です。他の市が今後改定をしなかった場合ですが、R8 年の 170 円/㎡で高い方から 8 番目、R10 は 180 円/㎡で 4 番目、R12 は 190 円/㎡で 3 番目となります。ただ、他市も経営戦略の見直し、使用料の改定を行っていますので、他の市も値上げをすれば、見附市の順位は相対的に下がっていくと考えています。

質：見附新聞

- ・人材バンクについて、これはボランティアではないですよ。報酬などがありますか。

答：市長

- ・ボランティアではなく、ちゃんとした報酬が出る仕事です。

答：こども課長

- ・契約するのは園とご本人であり、報酬の基準額など市では決めていません。

質：見附新聞 三本記者

- ・報酬額はあくまでも、園と当事者の契約に任せるということで分かりました。

質：新潟日報

- ・総合防災訓練の外国人避難訓練は、外国人の方が参加されることから、市側で英語での対応や呼掛け、避難所でも英語での対応を予定していますか。

答：市長

- ・はい。避難所では英語の話せる職員にフォローしてもらいます。また、情報発信については、すでに外国人の方にも受け取ってもらえるように発信していますので、それをしっかり見ていただく事がまず大事なかと考えています。

質：読売新聞

- ・キックボードのレンタルについて、県内ですでに取り組んでいる市町村はありますか。

答：市長

- ・国内ではすでにありますが、県内の市町村では他になかったはず。また、民間の取り組みはあるかもしれません。